

普通徴収切替理由書（兼仕切書）

市区町村名	習志野市	指定番号	
事業者名			

符号	普通徴収切替理由	人数
普A	総従業員数が2名以下 (下記「普B」～「普F」に該当する全ての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数)	人
普B	他の事業所で特別徴収(乙欄該当者など)	人
普C	給与が少なく税額が引けない(年間の給与支給額が100万円以下)	人
普D	給与の支払が不定期(例:給与の支払が毎月でない)	人
普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)	人
普F	退職者又は退職予定者(5月末日まで) 及び休職者(育児休業中を含む)	人
合計		人

- 普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に該当する符号(普A、普Bなど)を記入してください。
- この普通徴収切替理由書の提出がない場合、原則どおり、特別徴収対象者となります。
- 符号「普F」欄の休職者とは、給与の支払を受けていない場合に限ります。

【普通徴収切替理由書の記入提出要領】

- この普通徴収切替理由書は、当面、**普通徴収を認める基準(普A～普F)**を示すものです。
- 当面、普通徴収を認める基準に該当し、かつ普通徴収を希望する方がいる場合は、該当する理由の右側「人数」欄に、人数を記入し、給与支払報告書と併せて提出してください。
- 特別徴収に該当する方と普通徴収に該当する方がいる場合は、仕切書として普通徴収の方の個人別明細書の上に挿入し、総括表や他の個人別明細書と合冊して提出してください。
- 普B**は、主たる給与から合算されて特別徴収となる**乙欄該当者**などが対象となります。
- eLTAX等の電子媒体**で給与支払報告書を提出する場合は、該当する方の「普通徴収」欄に必ずチェックを入力してください。また、摘要欄に該当する普通徴収切替理由の符号(普B、普Cなど)を記入願います。**(普通徴収切替理由書の添付は不要です。)**

※ 普通徴収を認める基準に該当しても、理由書の提出がない場合や記載内容に不備がある場合は、普通徴収への切替ができないことがありますので、御注意ください。

【普通徴収切替理由書記入例】

- ・普通徴収とする方の人数を記入してください。
- ・各々の給与支払報告書(個人別明細書)の摘要欄に、該当する理由の符号を記入してください。退職予定者の場合は、退職予定年月日も併せて記入してください。

普通徴収切替理由書に記載のある理由(普A～普F)以外での普通徴収への切替は認められませんので、御了承ください。

普通徴収切替理由書（兼仕切書）			
市区町村名	習志野市	指定番号	0009876543
事業者名	株式会社 習志野		
符号	普通徴収切替理由	人数	
普A	総従業員数が2名以下 (下記「普B」～「普F」に該当する全ての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数)	人	
普B	他の事業所で特別徴収(乙欄該当者など)	人	
普C	給与が少なく税額が引けない(年間の給与支給額が100万円以下)	人	
普D	給与の支払が不定期(例:給与の支払が毎月でない)	人	
普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)	人	
普F	退職者又は退職予定者(5月末日まで) 及び休職者(育児休業中を含む)	2人	
合計		2人	

○ 普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に該当する符号(普A、普Bなど)を記入してください。

○ この普通徴収切替理由書の提出がない場合、原則どおり、特別徴収対象者となります。

○ 符号「普F」欄の休職者とは、給与の支払を受けていない場合に限ります。

普通徴収とする場合、その理由を符号から選んで摘要欄に記入してください。

この欄の人数が総括表の普通徴収欄の人数と一致することを確認してください。

【給与支払報告書(個人別明細書)摘要欄 抜粋】

社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額		
円	円	円	円	円	円	円	円	
(摘要)								
普F								
(令和6年3月31日退職予定)								
生命保険料の内訳	新生命保険料の金額	円	旧生命保険料の金額	円	介護医療保険料の金額	円	新額年金額の金額	円
							旧額年金額の金額	円

退職予定者は摘要欄に退職予定日を記入してください。

中途就・退職				
就職	退職	年	月	日
	○	5	12	31

点線○印欄に退職の記入があれば符号は不要ですが、切替理由書には人数を記入してください。